

## 戦略的プロジェクト研究推進事業

### 「有害化学物質・微生物の動態解明によるリスク管理技術の開発」

#### 研究概要図

中課題番号	18072043
中課題名	国産農産物中のかび毒及びかび毒類縁体の動態解明並びに汚染の防止及び低減に関する研究
研究実施期間	平成30年度～平成34年度（5年間）
代表機関	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 （食品研究部門）
研究開発責任者	久城 真代
研究開発責任者 連絡先	TEL：029-838-8037
共同研究機関	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 （九州沖縄農業研究センター） 宮城県古川農業試験場 学校法人麻布獣医学園麻布大学 国立大学法人岐阜大学 学校法人金井学園福井工業大学
普及・実用化 支援組織	地方独立行政法人北海道立総合研究機構北見農業試験場 国立大学法人金沢大学 一般社団法人日本ピーナッツ協会
農林水産省内 本事業担当	消費・安全局食品安全政策課食品安全技術室 代表：03-3502-8111（内線4451）

# 研究概要図

## 研究課題名：

国産農産物中のかび毒及びかび毒類縁体の動態解明並びに汚染の防止及び低減に関する研究

小麦



二条大麦



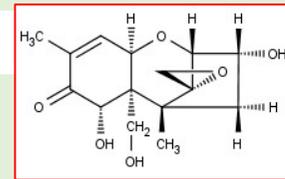
六条大麦



麦類赤かび病：登熟期に降水の多い日本では避けることが困難  
→トリコテセン系かび毒（DON,NIV等）の穀粒への蓄積

DON, NIV: 近年、アセチル体、配糖体等の類縁体を含めたリスク管理が求められており、実態把握と低減技術の開発が必要

デオキシニバレノール(DON)



「戦略プロかび毒コンソーシアム」

代表機関

統括、分析法の妥当性確認ほか



食品研究部門

共同研究機関

小麦・大麦の栽培  
赤かび病防除試験  
生育ステージ毎のサンプリング

免疫化学的測定法  
の開発

トリコテセン産生菌の毒素  
型の簡易判別法の開発

アフラトキシン産生菌の  
高感度検出法の開発



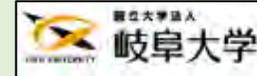
九州沖縄農業研究センター



宮城県 古川農業試験場



麻布大学



岐阜大学



福井工業大学

研究概要

育種・栽培の圃場試験

品種・栽培条件の  
明らかな麦試料の作成

生育ステージ、品種差、防除の効果の把握

かび毒分析技術の高度化

分析法の開発と検証  
(機器分析・免疫化学的測定)

産生菌の判別・検出法の高度化

トリコテセン産生菌の毒素型の判別  
アフラトキシン産生菌の検出

産生菌の国内分布、生息環境の把握

かび毒(類縁体を含む)の濃度蓄積に関する知見の充実

産生菌の毒素産生型、分布と動態に関する知見の充実

達成目標

小麦・大麦中の類縁体含むDON、NIV濃度低減のための管理技術(改善策)を1つ以上開発  
サーベイランスや自主検査に利用可能な産生菌の診断技術を1種類以上開発

行政部局によるリスク管理措置、簡易判別・検出法の現場への普及へ